

収蔵品展

～長崎の詩人、歌人、俳人～

本県は、豊かな自然や独特の歴史と文化を有し、多くの文学作品の舞台となってきました。今回の企画展では、県立長崎図書館の収蔵品の中から、伊東静雄、斎藤茂吉、竹山広、森澄雄ら長崎にゆかりのある詩人、歌人、俳人の直筆資料や書籍等を中心に展示します。

会
期

平成29年

2月3日(金)～4月2日(日) ※休館日を除く

場
所

長崎県立長崎図書館
4階郷土資料展示室

開館時間 9:30～17:00

展示説明会 2月3日(金) 14:00～14:15

主催／長崎県立長崎図書館

後援／長崎新聞社 西日本新聞社長崎総局 朝日新聞社
毎日新聞社長崎支局 読売新聞西部本社 NHK長崎放送局
NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送
NIB長崎国際テレビ 長崎ケーブルメディア エフエム長崎

第39回(平成28年度第3回)県立長崎図書館講座

「長崎の俳句」

講師 野中亮介氏(俳人・「花鶏(あとり)」主宰)

日時 平成29年2月12日(日) 13:30～15:30

場所 長崎県立長崎図書館 2階講堂

入場
無料
申込不要

入場無料

平成28年度 長崎ゆかりの文学
第4回企画展 「収蔵品展～長崎の詩人・歌人・俳人～」 主な展示目録

～長崎の詩人～

資料名		出版年	備考	
伊東静雄				
1	伊東静雄 詩作の後 小さい手帖から	制作年不明	原稿	『反響』の詞書、複写物5枚
大野良子				
2	大野良子 精霊船	制作年不明	原稿	NHKラジオ放送「お休みの前に」で放送された原稿
3	大野良子 雪法師・新しい春	制作年不明	原稿	
風木雲太郎				
4	異変 平成3年2月24日夜	制作年不明	原稿	『風』119号ほか所収
5	水影の町	制作年不明	原稿	『風アンソロジー 1986年版』ほか所収
6	大村湾「魚雷艇学生」遺構	制作年不明	原稿	『レトロの旅 長崎風物詩抄』所収
7	長崎オランダ村行	制作年不明	原稿	『レトロの旅 長崎風物詩抄』所収
8	美しき天然の碑	制作年不明	原稿	『レトロの旅 長崎風物詩抄』に「『美しき天然』の碑」のタイトルで所収
9	無題	制作年不明	原稿	長崎の詩人たちについて書いたエッセイ
菊田一夫				
10	がしんたれけふは泣きけりふるさとの海の蒼さよ	制作年不明	短冊	本館初公開
11	長崎の長坂下りて尼僧くる何処ぞでみたる女の顔なり	1953	色紙	
高塚かず子				
12	長崎県立鶴南特別支援学校校歌	制作年不明	原稿	
13	長崎県立虹の原特別支援学校校歌	2011	原稿	
田中俊廣				
14	青嶺また青嶺の谷に佛たち 俊廣	2005	色紙	
山田かん				
15	長崎反核運動の連鎖	制作年不明	原稿	

～長崎の歌人～

資料名		出版年	備考	
斎藤茂吉				
16	あさ明けて船より鳴れる太笛のこだまは長し並みよろふ山	制作年不明	色紙	『斎藤茂吉全集』第1巻所収
17	挟間なる杉の大樹の志多や美にゆふこがらし盟葉於としやまず 茂吉	1921	短冊	『斎藤茂吉全集』第1巻所収 本館初公開
中里喜昭				
18	てのひらの骨透くるまで七輪に火を熾しつゝ逢ひたかりけり	2006	色紙	
19	地ふかく聲なくはげむ鮎夫らの人の高さに灯はかかげつゝ	2006	色紙	
中村三郎				
20	秋霞たなひくそらゆあらはれて編隊機来るあとよりあとより	制作年不明	短冊	本館初公開

資料名		出版年	備考	
竹山広				
21	この川の水に重なりみたる死者いち日おもひ一年忘る	制作年不明	色紙	歌集『千日千夜』所収
22	くろぐろと水満ち水にうち合へる死者満ちてわがとこしへの川	制作年不明	色紙	歌集『とこしへの川』所収
23	足の爪切りて早まりたる脈のしづまるを待つ世紀の終り	制作年不明	色紙	歌集『射禱』所収
24	病み重る地球の声のきこゆると言はしめてただ神は見たまふ	制作年不明	色紙	歌集『射禱』所収
25	爆心のゆふぐるる碑に対ひ立つ青年よ空を見ずに去るのか	制作年不明	色紙	歌集『千日千夜』所収
26	われに吹く風と月明の樟に吹く風ときこえていま樟の風	制作年不明	色紙	歌集『とこしへの川』所収
27	青暮るる水無月の天歳月の跡なきものもいち日終る	制作年不明	色紙	歌集『残響』所収
28	日没ののちの青空人生を使ひはたして人も仰ぐか	制作年不明	色紙	歌集『残響』所収
29	たましひは今日かなしみの器にて暮れたる雨をなほ見よといふ	制作年不明	色紙	
30	万の死者ひとつ炎に燃えし日のきれぎれにして多くを忘る	制作年不明	色紙	歌集『とこしへの川』所収
31	創作ノート	制作年不明	自筆資料	
平山蘆江				
32	肥前長崎わたしの故郷 日本にひとつの開港場	制作年不明	短冊	
33	雨にあらしにふるさとこひしこの世であへない親こひし	制作年不明	短冊	
34	火鉢こひしくお茶などいれてつゆの青葉にぬれながら	制作年不明	短冊	
35	土手の長さとはなしの長さ 柳やなぎに春の雨	制作年不明	短冊	『蘆江歌集』所収
吉井勇				
36	嵐あげの猛者ときこえて逞ましやわが長崎の君の兄者人	制作年不明	短冊	『定本 吉井勇歌集』所収
37	長崎の春のをはりの悩ましさわれもおほゆる砂日和かな 長崎紀行抄十四	制作年不明	色紙	

～長崎の俳人～

下村ひろし				
38	浦上は愛濁くごと地の早	制作年不明	色紙	句集『石階聖母』所収
39	けふのことすでに過去なり夕桜	制作年不明	短冊	句集『石階聖母』所収
40	しぐるる江軍が浦の名を遺す	制作年不明	短冊	『西陲集』所収
41	仏足の曼陀羅匂ふ初桜	制作年不明	短冊	『西陲集』所収
42	平和の泉 原爆日噴水は穂を高うせよ	制作年不明	短冊	『西陲集』所収
43	藩船の風待ち港風かをる	制作年不明	短冊	『西陲集』所収
田中田士英				
44	行春の浦々済みし絵踏かな	制作年不明	短冊	本館初公開
45	蕭條と冬めく並木桜かな	制作年不明	短冊	
46	唐人に風の上手や山あそび	制作年不明	短冊	
47	なげうつことごとくの蠹桃蛇はにげたり	制作年不明	短冊	

平成28年度 長崎ゆかりの文学
第4回企画展 「収蔵品展～長崎の詩人・歌人・俳人～」 主な展示目録

資料名	出版年	備考
松尾あつゆき		
48 わが傷はわが舐めるほかなしけもののごとく あつゆき	制作年不明	色紙 句集『原爆句抄』所収
森澄雄		
49 送り火の法も消えたり妙も消ゆ	制作年不明	短冊
50 桃喰うて夜蛙の聲うるほふも 澄雄	制作年不明	短冊 季題別森澄雄全句集 所収 本館初公開
51 をだまきの花や土産に有馬筆 澄雄	制作年不明	色紙 句集『空艦』所収
52 礮にて白桃むけば水過ぎゆく 澄雄	制作年不明	色紙 句集『花眼』所収
53 白桃や満月のやゝ曇りをり	制作年不明	色紙
54 酔客ひとり越後へさむき浄瑠璃を	制作年不明	色紙
55 山門は隠元自筆鳥雲に	2006	色紙 長崎句碑除幕記念 平成18年10月7日、杉俳句会
56 年籠	1988	書画 南無不可思議光如来や年籠
57 白をもて一つ年とる浮鷗	制作年不明	書画 第三句集『浮鷗』所収 代表句の一つ
58 さみしさの海を見て食ふさくらんぼ	制作年不明	書画 第七句集『四遠』所収
水原秋桜子		
59 大浦天主堂 薔薇喰ふ蟲聖母見給ふ高きより	制作年不明	短冊 第十一句集『残鐘』所収
60 蓮台に立つも麦秋の聖マリア	制作年不明	短冊 句集『蘆雁』所収
61 オランダ坂にて 七面鳥薔薇咲く道に影あをし	制作年不明	色紙 本館初公開
62 薔薇の坂にきくは浦上の鐘ならずや	制作年不明	色紙 水原秋桜子句碑(長崎原爆資料館横)建立記念
山本健吉		
63 ふるさとの伊木力みかんみどり葉の大き葉つけて花のごとくあり	制作年不明	色紙